

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

R HB サドルバッグ①/④

*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡ししてください。

HB サドルバッグ MIL シリーズ	適応車種	商品NO.
	汎用	商品ラベルに記載

■ ご使用前に必ず、ご確認ください ■

※ 取扱説明書内及び、商品付属の台紙記載の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

※ この商品は予告なく、商品の仕様及び価格を変更する場合があります。また、文中に紹介している補修部品などの関連商品についても同様です。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠ 警告 要件を満たさず使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。

⚠ 注意 要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。



実施

行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



その他

その他の警告及び注意を告げるものです。

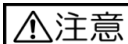


警告



実施

- この商品は、必ず市販の巻き込み防止バーと同時装着をしてください。また、車両に固定する際には、固定ベルト等が車体側回転部分に巻き込まないように十分注意してください。巻き込みを起こしますと重大な事故につながる恐れがあります。
- 取り付けする際は、巻き込み防止バーがバッグの半分以上(上下方向)をカバーするように装着してください。またカバーされる範囲(上下左右方向)が極端に少ない巻き込み防止バーのご使用はしないでください。
- 取り付けは確実に行ってください。また、走行時は必ず荷室のファスナー及びフタのバックルを閉めてご使用ください。バッグ及び積載物が脱落しますと重大な事故につながる恐れがあります。
- 取り付け後は必ず試験走行を行い、巻き込み、脱落の恐れが無い点検をしてください。また、商品付属のベルト類は消耗いたしますので、走行前及び定期的に異常がないか点検をしてください。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。
- 最大積載重量は2kgまでです。2kg以内であっても、片寄った入れ方や工具などの金属類、液体などの重量物が一箇所に集中するとバッグが変形、破損する恐れがありますのでパッキングにはご注意ください。
- 商品装着位置にもよりますが、カーブ走行時にはバッグを擦らないよう速度を落とし、注意して走行してください。また、片側だけの装着となるため、車体の重量バランスが崩れますので、走行には十分注意してください。
- 法定速度を越えるスピードでの使用は出来ません。また、法定速度内であっても装着状況を常に意識して、控えめな速度で注意して走行してください。



注意



実施

- 商品装着部分は、商品と車体の接触によりキズなどのダメージが発生します。別売のプロテクションシールなどで保護して使用することをお勧めします。車体側へのダメージについては、保証いたしかねますのでご了承ください。
- マフラーとの隙間は、バッグに荷物を入れた状態で、十分離して装着してください。高温になる箇所に装着しますと商品が溶けて、穴が開いてしまう恐れがあります。また、溶けた生地が車体に付着する事がありますので、装着箇所にはご注意ください。
- この商品にはレインカバーが付属していません。収納する荷物は、防水小分けバッグに入れるなどの対策を行ってください。
- 荷物の無理な押し込みや片寄った入れ方は、商品の破損や脱落の原因となりますのでお止めください。また、収納物や衣服、肌等をファスナーに挟み込まないようにご注意ください。
- 生地や各部の縫製は、無理な力を加えるなど乱暴な扱いをすると破損する恐れがあります。丁寧にお取扱ってください。
- 角の尖ったものを入れる場合は、布などに包んで収納してください。バッグが破損する恐れがあります。



- ・色あせ、劣化など消耗します。消耗については期間に関係なく保証できかねますので予めご了承ください。
- ・この商品は、汎用性の高い装着方法を採用しておりますが、車種や車両の仕様によっては装着できない場合があります。また、ベルトを固定する為のレール（市販品）等が別途必要になる場合があります。
- ・車種や車両の仕様、商品装着箇所によってはタンデムしにくくなる場合があります。
- ・本書に記載されている内容を守らずに発生した不具合に関しては保証いたしかねます。また、発生した商品の不具合によって破損、紛失、損失した本品以外の品代、費用等については保証いたしかねますので予めご了承ください。
- ・車体側回転部分への巻き込み、カーブ走行時のバッグの擦れや破れ等の保証はいたしかねますので予めご了承ください。
- ・この商品は予告無く仕様及び価格の変更をすることがあります。

本商品の特徴

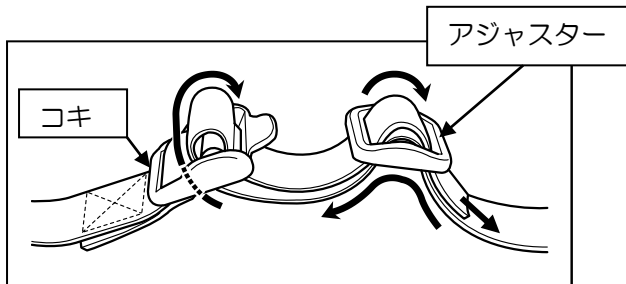
- ・デザイン性、取付性を考慮した、多機能でシンプルなバッグ（詳細は商品付属の台紙をご参照ください）。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	バッグ本体		1	③	振れ止めベルト(短い方)	20×550	4
②	固定用ベルト(長い方)	20×1000	2	④	アジャスター	20 mm	4

取付方法

<ベルトの樹脂部品（コキとアジャスター）について>



商品取付の際には、各部でアジャスターを使用します。以下の取付手順でのベルトの基本的な通し方は図を参考にしてください。

また、以下の説明での名称（コキとアジャスター）についても、この図を参照ください。

■アジャスターについて

この部品には緩み防止機能があります。アジャスターは必ず、同じ部分に2回通します。スペースの関係でアジャスターが使えない場合は、コキの根本でベルトを縛り緩み防止を必ずしてください。

■余ったベルトについて

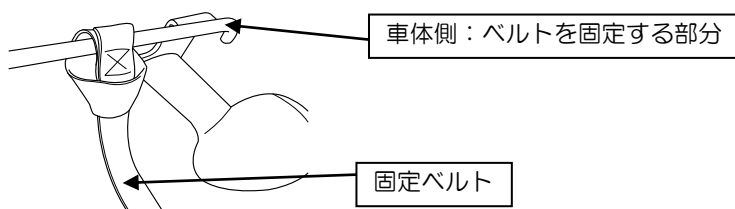
余ったベルトを切って長さを調整した場合、切った先端をライターなどであぶって、ほつれ防止の処理をして下さい。

ベルトが余った状態で、走行をすると大変危険です。

⚠️注意

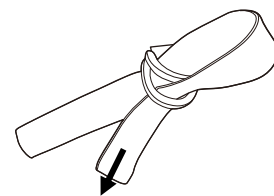
※火を使う場合は、火傷や火災に十分注意し、車体から十分距離をとったところで使ってください。

<ひばり結び>



※ひばり結びとは、固定する部分にベルトを通し、輪になっている方に反対側ベルトを通して固定する方法です。

<Dカン>



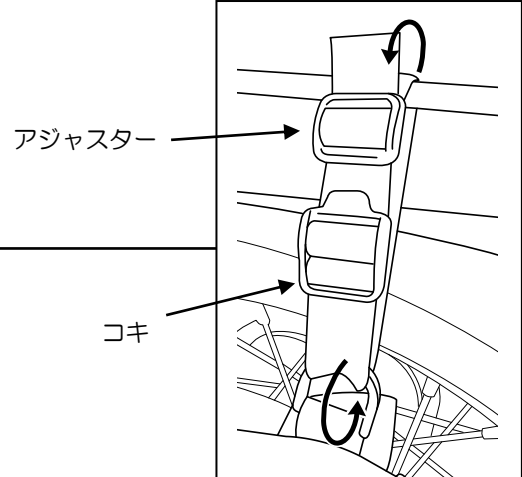
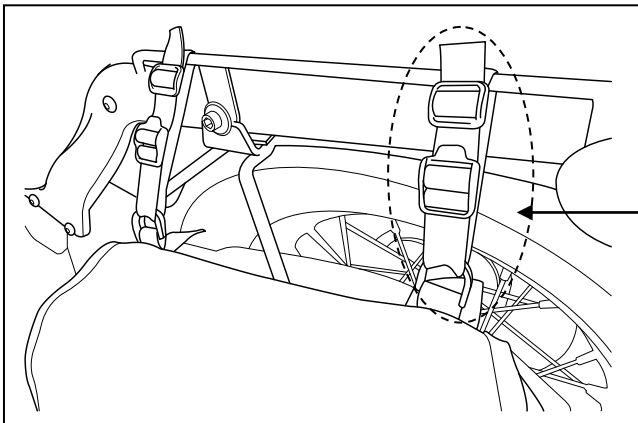
※ヘルメットのおご紐と同様、ベルトの先端を2つのDカンに通し、2つのDカンの内、最初に通したDカンへもう一度通して固定する方法です。

装着方法

1. 車体側には、必ず市販の巻き込み防止のサポートを取り付けてください。
2. 振れ止めベルト又は固定用ベルトを使い、バッグを車体に固定します。
※極端に隙間の狭い箇所には通せませんので、その場合は市販のバッグ装着用レールなどをご使用ください。

<振れ止めベルトを使い固定する場合>※ベルトの使用方法は<ベルトの樹脂部品(コキとアジャスター)について>を参照

- ①ベルトをバッグ本体のDカンに通し、車体側(別売サドルバッグハンガー、フェンダーストラット内側、フレーム、グラブバー等)に通します。※ここでの取り付けは、別売サドルバッグハンガー装着車での説明をしています。
- ②車体側にベルトを通し、アジャスター⇒コキの順にベルトを通し、もう一度アジャスターにベルトを通したら完了です。

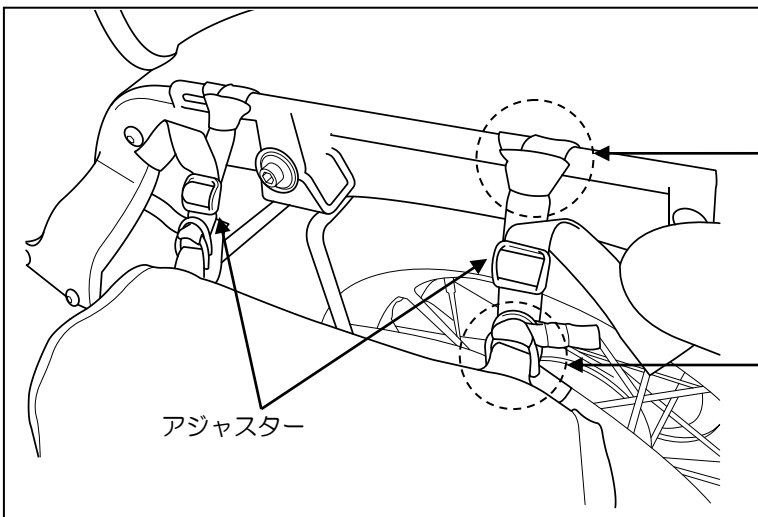


<固定用ベルトを使い固定する場合>

- ①輪になっていない側の先端を車体側(別売サドルバッグハンガー、フェンダーストラット内側、フレーム、グラブバー等)に通し、ひばり結びで固定します(図 A)。

※ここでの取り付けは、別売サドルバッグハンガー装着車での説明をしています。

- ②車体側へひばり結びで固定をしたら、アジャスターにベルトを通します。
- ③Dカンにベルトを通し(図 B)、ベルトをもう一度アジャスターに通したら完了です。



<車体側>
ひばり結び

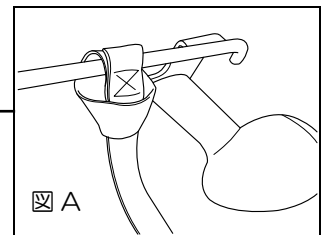


図 A

<Dカン固定方法>

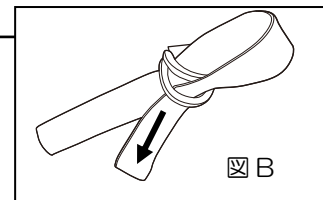


図 B

<固定用ベルトを使いシート巻き固定する場合>

- ①輪になっていない側の先端をバッグ本体のDカン(Dカンが1個しか付いてない方)に通し、ひばり結びで固定します。※図 C
- ②バッグ本体へひばり結びで固定をしたら、ベルトをシート下に通してからシート上側にベルトをもってきます。
- ③シート上にきたベルトを予めアジャスターに通しておき、ベルトをDカンに通します(図 D)。ベルトをもう一度アジャスターに通したら完了です。

<バッグ裏側>
ひばり結び

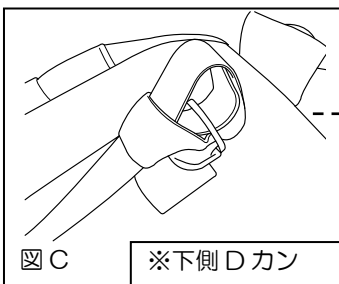
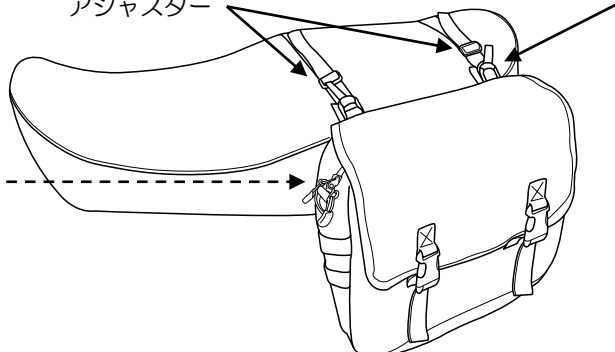


図 C

※下側Dカン

アジャスター



<Dカン固定方法>

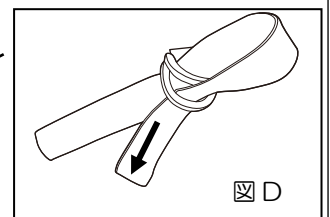
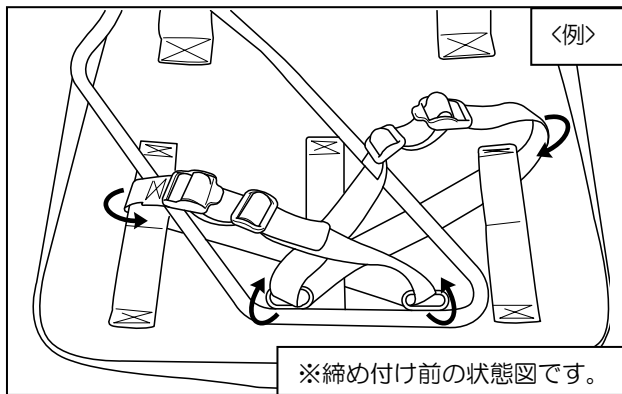


図 D

3. バッグ裏側の固定



振れ止めベルトをバッグ裏側の PALS テープと巻き込み防止サポートに通して固定します。

※前ページの＜ベルトの樹脂部品（コキとアジャスター）について＞を参照してください。

＜ポイント＞

- 振れ止めベルトの固定箇所(サポートなど車体側)は極力バッグの左右外側かつ下側方向へ引くようにしてください。
- バッグ側 PALS テープへ通す箇所と、車体側の固定箇所は極力近い位置にしてください。
- 左のイラストは 10L タイプで説明していますが、6L も取付方法は同じです。
- スイングアームなど、サスペンションのストロークで可動する箇所への固定はしないでください。

⚠注意

※走行時にバッグが振れないよう確実に固定してください。

※余ったベルトは確実に縛るなどして、ベルト類が、車体側回転部、可動部に巻き込まないようにご注意ください。

※ベルトを強く引き過ぎますと、バッグ側、PALS テープ縫製部が破れてしまいますのでご注意ください。

※6L タイプは背面の面積が少ない為、サイドバッグサポートの設計やバッグの装着位置によっては、巻き込みが起り易くなる可能性があります。装着位置を調整しながら取り付け作業を行ってください。

4. 各部の点検

荷物収納時や走行時の振動や風、サスペンションのストロークなどを考慮し、各部の点検を行ってください。

＜その他＞

バッグ側面の PALS テープ：オプションのボトルホルダーが固定可能。

バッグ側面の D カン(樹脂の黒色)：オプションのショルダーベルトが固定可能。

オプション品

商品名	品番	本体価格(税抜)	備考
ハイプロテクションシールS (135X200)	14181	¥800-	
ハイプロテクションシールL (275X400)	14180	¥2,500-	
ショルダーベルト	73158	¥500-	色：黒
ボトルホルダー	75164	¥2,000-	色：黒

補修部品

商品名	品番	本体価格(税抜)	セット内容
補修用固定ベルトセット (グリーン)	90598	¥600-	②の 2本セット
補修用触れ止めベルトセット (グリーン)	90597	¥850-	③の 2本セット

お手入れ方法と保管について

- 商品が濡れてしまった場合は、汚れと水分を取り除き、ファスナーを開けて風通しの良い場所で陰干ししてください。
- 汚れた場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布でふき取って、陰干ししてください。
- 保管する際には、陰干して乾燥させてから、湿気を避け直射日光の当たらない風通しの良い場所に保管してください。

⚠注意

- シンナー、ベンジン、パーツクリーナー等の有機溶剤は使用しないでください。
- 水洗いや洗濯機での丸洗いは、商品を傷める恐れがありますのでお止めください。


承認JASDAQ上場
 株式会社 **デイトナ** 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

URL: <http://www.daytona.co.jp>

©デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで